

議会だより



8月28日
きらやまレインボー通り
夏の陣



もくじ

令和3年度決算	……	P 2～P 3
8月臨時会・9月定例会 補正予算	……	P 4
議案一覽	……	P 5
常任委員会報告	……	P 6～P 8
一般質問	……	P 9～P 11
議会の動き	……	P 11
議員と語ろう	……	P 12
12月定例会の日程・編集後記	……	P 12

実質公債費比率 14.8%

公債費による財政負担の程度を示す数値
前年度比 0.5ポイント減

経常収支比率 83.5%

財政の硬直化を示す数値
前年度比 4.1ポイント減

令和3年度 決算を認定

9月定例会 8月30日(火)~
9月20日(火)

歳入 自主財源 30.4%
依存財源 69.6%

一般会計 歳出総額 124億9,417万円

令和3年度 主要事業

総務費

◇ケーブルネットワーク更新事業
8億9,270万円
(三方地域のケーブルテレビ施設の更新)

◇ふるさと納税推進事業
3億5,606万円
(ふるさと納税の経費、ふるさと応援基金の積立)

◇公共交通推進事業
4億6,934万円
(公共交通の利用促進の取組、公共交通活性化基金の設置)

民生費

◇子育て世帯への臨時特別給付金事業
2億1,782万円
(児童1人当たり10万円の特別給付金の支給)

衛生費

◇清掃総務費
3億5,271万円
(一般廃棄物処理や不法投棄回収処理業務等)

農林水産業費

◇多面的機能支払交付金事業
1億3,783万円
(農業用施設の維持・管理、長寿命化への補助)

商工費

◇レインボーライン山頂・山麓公園整備事業
2億5,264万円
(売店、トイレ棟、レストラン棟及び上下水道設備の更新)

土木費

◇河川維持管理事業
3,482万円
(町が管理する河川の浚渫等)

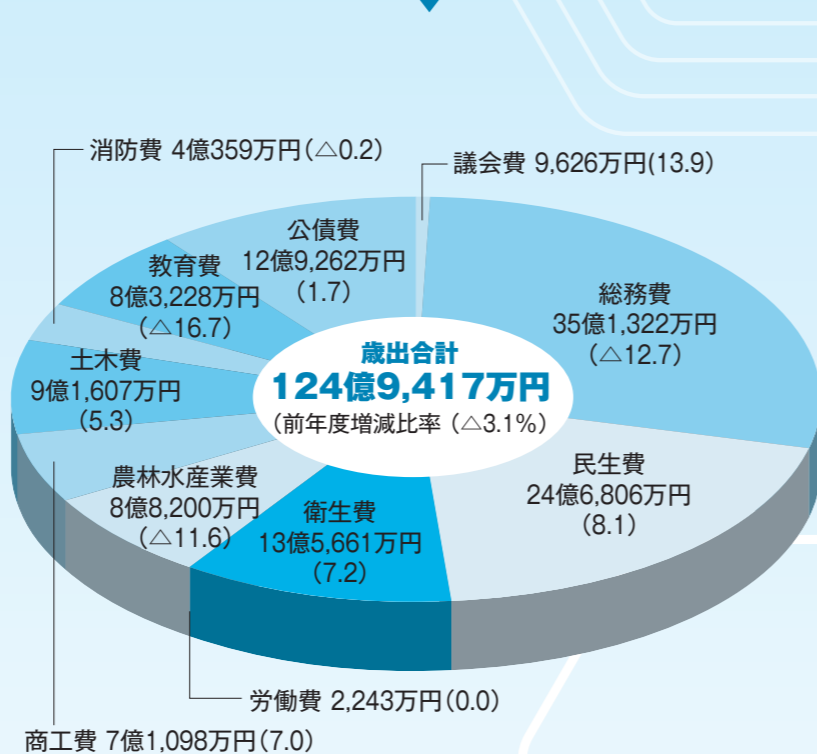
消防費

◇消防費事業
4億359万円
(敦賀美方消防組合及び若狭消防組合への負担金等)

教育費

◇給食センター費
1億5,114万円
(給食の調理・配送、施設設備維持管理、食器の更新)

? 私たちの税金は
どう使われたのか?



支出は

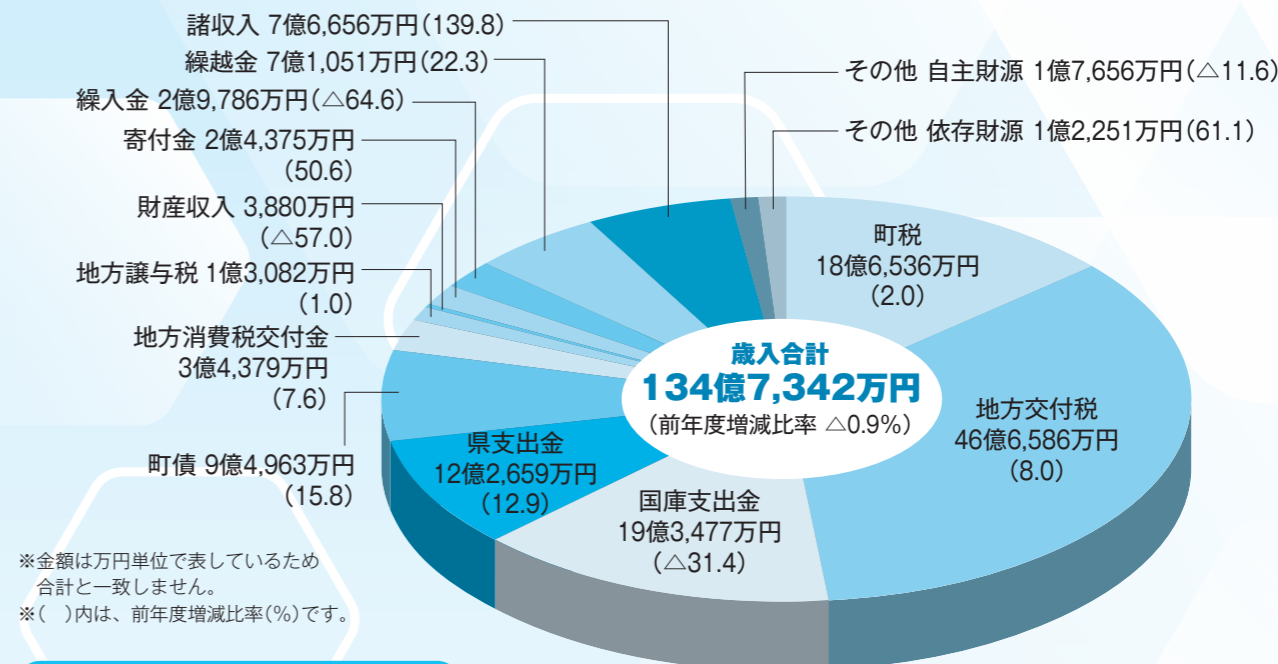


町民一人当たり
約89万円
(対前年度比 同額)



一世帯当たり
約252万円
(対前年度比 6万円減)

※令和4年3月31日時点の人口、世帯数で計算



※金額は万円単位で表しているため
合計と一致しません。
※()内は、前年度増減比率(%)です。

特別会計・企業会計

特別会計名	歳入	歳出	特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	17億3,841万円	17億2,426万円	農業集落排水処理事業	4億1,332万円	3億7,495万円
後期高齢者医療	2億722万円	2億713万円	漁業集落排水処理事業	6,794万円	6,788万円
直営診療所	8,918万円	8,343万円	公共下水道事業	5億8,324万円	5億5,171万円
介護保険	19億9,890万円	19億1,944万円	町営住宅等	4,007万円	3,549万円
簡易水道事業	4億8,348万円	2億5,736万円	土地開発事業	1億2,396万円	1億2,387万円
農業者労働災害共済事業	242万円	239万円			

企業会計名	区分	収入	支出	差引
水道事業	収益的	1億7,822万円	1億5,053万円	2,769万円
	資本的	2,847万円	9,336万円	△6,489万円
工業用水道事業	収益的	2,640万円	3,179万円	△539万円
	資本的	0万円	366万円	△366万円
上中診療所事業	収益的	5億461万円	5億824万円	△362万円
	資本的	3,269万円	6,283万円	△3,014万円

※金額は万円単位で表しているため差引と一致しません。

8月臨時会

8月10日に採決され全員賛成で承認・可決された議案

- 専決処分の承認を求めることについて(令和4年度若狭町一般会計補正予算(第3号))
- 工事請負契約の締結について(令和4年度若狭アドベンチャーツーリズム拠点整備事業 お花見広場野外活動交流拠点整備工事(その1))
- 財産の処分について

9月定例会

9月20日に採決され全員賛成で認定・可決された議案

- 令和3年度若狭町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和3年度若狭町水道事業会計、若狭町工業用水道事業会計及び若狭町国民健康保険上中診療所事業会計決算の認定について
- 若狭町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 原子力発電施設等立地地域の指定による町税の特例に関する条例の一部改正について
- 地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく町税の特例に関する条例の一部改正について
- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
- 令和4年度若狭町一般会計補正予算(第4号)
- 令和4年度若狭町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 令和4年度若狭町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 令和4年度若狭町直営診療所特別会計補正予算(第1号)
- 令和4年度若狭町介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 令和4年度若狭町農業者労働災害共済事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和4年度若狭町農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和4年度若狭町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和4年度若狭町営住宅等特別会計補正予算(第1号)
- 令和4年度若狭町土地開発事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和4年度若狭町水道事業会計補正予算(第1号)
- 工事請負契約の締結について(令和4年度若狭アドベンチャーツーリズム拠点整備事業 お花見広場野外活動交流拠点整備工事(その2))

9月20日に異議なく適任としたもの

- 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(若狭町横渡 蓮本京子氏)

8月臨時会

開催期間 8月10日(水)

令和4年度一般会計予算を 357万円増額する補正予算の専決処分を承認

■ ののほな保育園
職員室空調設備更新工事に
64万円を計上

空調設備が突然故障し、夏場の熱中症予防のために緊急に取り替える必要がある。

■ 給食センター
冷凍冷蔵室空調設備修繕に
293万円を計上

経年劣化により故障した大型冷凍冷蔵室を、小中学校の夏休み中に更新する必要がある。

【補正予算財源内訳】 繰越金 357万円

9月定例会

補正予算 一般会計に9億8,350万円を増額補正

令和4年度の総額は**118億3,924万円**に

主な歳出

(千円単位は切り捨て)

事業内容	補正額
公民連携推進事業(河内キャンプサイト宿泊施設整備に対する補助)	5,000万円
財政調整基金費(財政調整基金への積立)	4億6,700万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業(令和3年度の新型コロナウイルスワクチン接種実績に伴う国庫返還金)	4,790万円
除雪対策事業(今冬の除雪に係る委託料、賃借料等)	7,925万円
道路維持修繕事業(町道落石防護柵測量設計業務委託(新道、河内)、道路施設一般補修工事等)	4,636万円
自然休養村施設管理事業(西田公民館耐震補強リノベーション工事)	1億4,702万円

主な歳入(補正額)

(千円単位は切り捨て)

◆ 地方交付税	1,639万円	◆ 財産収入	5,345万円
◆ 国庫支出金	6,344万円	◆ 繰越金	8億8,442万円
◆ 県支出金	3,435万円	◆ 町債	▲8,624万円

特別会計・企業会計

(千円単位は切り捨て)

特別会計名	補正額	合計額	特別会計名	補正額	合計額
国民健康保険	2,035万円	17億9,951万円	農業集落排水処理事業	3,586万円	4億6,228万円
後期高齢者医療	9万円	2億4,167万円	公共下水道	3,779万円	6億2,374万円
直営診療所	572万円	9,251万円	町営住宅等	457万円	3,845万円
介護保険	8,047万円	20億6,561万円	土地開発事業	9万円	1億905万円
農業者労働災害共済事業	422万円	555万円			

企業会計名	補正額	合計額
水道事業	500万円	13億4,240万円

常任委員会報告

令和3年度決算審査報告

認定第1号「令和3年度若狭町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について」及び認定第2号「令和3年度若狭町水道事業会計、若狭町工業用水道事業会計及び若狭町国民健康保険上中診療所事業会計決算の認定について」は、委員全員の賛成で認定するべきものと決定。

主な質疑事項

○一般会計

▼総務課関連

問 ホームページがリニューアルし、スマートフォンでも大変使いやすく、良くなった。電子申請や手続き等はこれからか。

答 申請等は、ホームページを活用しながら、それぞれの担当業務の中で、徐々に増やしていきたい。

▼総合政策課関連

問 小浜線利用促進補助金の予算残が多い。十分に活用されていない結果だと思つので、見直しし、効果

のあるものにしていただきたい。中高生が最寄り駅から鉄道を利用し、パレアに行く際に助成できないかとの提案をした。再度検討いただきたい。

答 パレアのイベントは、駅活性化イベント助成のようなものが該当する。広くPRし、JR小浜線利用向上を目指す。

▼観光商工課関連

問 みかた温泉きららの湯は、空調設備を更新しているが、毎年修繕が発生するの。

答 令和3年度の空調設備更新は、令和3、4年度の2か年で1台ずつ実施する予定だったが、令和3年度中に2台とも壊れたため、2台とも更新した。令和4年度は、源泉ポンプの交換があるが、それ以降は大きな修繕はない。



▼環境安全課関連

問 令和3年度の防犯カメラへの補助は、4集落8か所だが、その申請スケジュールが短かった。申し込みはどれくらいあったのか。

答 令和4年度は、集落ヒアリングで確認した8集落、20台分の予算を計上。今後、各集落に防犯カメラ設置の要望を令和5年度、6年度を目途に照会し、それを基に計画していく。

▼建設課関連

問 多面的機能支払交付金事業で、事業の概要を説明願いたい。

答 施設の維持修繕と新設に事業が分かれていて、事業の内容も施設の長寿命化と、それを除く部分に分かれている。

▼産業振興課関連

問 松くい虫被害総合対策事業で被害調査をしたのは、県や町が所有しているところか。地域はどこか。

答 被害調査対象地域は、ほぼ民有林。最後まで防除をしていた三三地区と三宅地区を中心に全域で調査している。

▼税務住民課関連

問 個人番号カード交付等事業の一般財源5万5千円の用途は。

答 補助対象外のプリンターと超過勤務分である。

▼福祉課関連

問 紙おむつ支援事業で、紙おむつ申込後、届くまで一か月かかったと話を聞いた。解決方法はないか。

答 申込期限を毎月4日としている。期限後に申し込まれるケースもあるが、事業者と相談し、間に合う場合はその月に配布している。月末の場合は翌月支給になる。個別に相談対応をしている。

▼歴史文化課関連

問 令和3年度の縄文博物館の入館者数2万8519人は、前年度と比較するとどうか。また年縞博物館との連携効果はあったのか。

答 入館者数は、ほぼ横ばい。年縞博物館との連携は、共通券を持つて来館される方や縄文博物館で共通券を買う方が多いので、効果は大きいと思う。



▼教育委員会関連

問 遠距離通学費補助とは具体的にどうしているのか。

答 遠距離通学費補助の対象は日笠区と末野区。日笠区はJRバスの定期券の半額補助、末野区はタクシーを利用した場合のタクシー代の半額補助である。

○国民健康保険特別会計

問 令和3年度の支出はないが、貸付金の目的は何か。

答 被保険者の医療費の支払いに対し、貸し付けるもの。

○介護保険特別会計

問 介護サービス等諸費が6600万円程度、基金積立金が1400万円程度となった原因は何か。

答 新型コロナウイルス感染拡大により、事業所でクラスターが発生した期間受入ができず、また利用者の利用控えもあったので、保険給付費の不要額が多くなった。基金積立金は、当初見込みよりも実績が伸びなかったため不要額として残った。

○農業者労働災害共済事業特別会計

問 収入の賦課金は何件分か。

答 加入件数437件分である。

○町営住宅等特別会計

問 収入未済額が40万4千円あるが、この内容と対応は。

答 未納は7名。納付依頼をし、未納の場合、電話連絡等を行い、再度納付依頼をする。現時点で、2名が完納、1名が一部納付いただいている。現在、23万円あまりまで減っている。引き続き納付を進めていきたい。

○水道事業会計

問 純利益やキャッシュフローが増えているが、料金の値上げのためか。

答 料金改定による利益の増である。

○工業用水道事業会計

問 純利益がマイナスで、繰越金から充てると、あと3年ほどで足りなくなるように思うが、どうか。

答 利益剰余金、利益積立金、建設改良積立金があり、取り崩して現金化すればまだ大丈夫である。

○上中診療所事業会計

問 耳鼻咽喉科の今年度実績は。

答 今年7月までを比べると、1日当たり平均患者数が昨年は6・3人だが、今年は7人台である。

予算決算常任委員会

本委員会に審査を付託された案件は議案11件。

委員全員の賛成をもって可決すべきものと決定。

主な質疑事項

○一般会計補正予算

▼総務課関連

問 勤怠管理システムは自分のパソコンから入力するが、保育所など一人一台のパソコンがないところはどうか。

答 保育園にも、5、6台配置をしている。それぞれ個々のパソコンでパソコン内に入り、出勤、退勤又は残業を入力する。

▼健康医療課関連

問 高齢者のインフルエンザ予防接種について、今年は増加するとの予想があるが、それを見込んでいるのか。

答 対象者は、4900人余りの75%の接種率を見込んでいる。過去3年の接種率は、令和元年度63%、令和2年度72%、令和3年度62%と推移しており、75%は妥当だと思う。

▼教育委員会関連

問 今回、給食センター費を補助することにより、給食費の値上げはないとの理解で良いか。

答 給食費の値上げは考えていない。



▼子育て支援課関連

問 子育て支援アプリの開始はいつか。また使用料や業者はどうなっているのか。

答 導入時期は、1月を目途としている。ランニングコストとして使用料が発生する。業者は、全国的にも実績があり、県内でも数か所実施している「母子モ」というアプリを基本に考えている。

▼総合政策課関連

問 JRバス若江線の件で、地元でも「乗って残そう」を積極的に活動している。公共交通推進事業の回数券の補助は6か月だが、ぜひ継

継続してもらいたい。

問 今回の補正予算は10月から3月までの6か月間をみている。皆さんに乗っていただくということが主旨であり、効果が表れた場合は、来年度も引き続き実施していきたい。

▼観光商工課関連

問 きららの湯の指定管理のあり方を検討すべきではないか。町がある程度支払いながら、補助金を削減する等、根本的に対応していくべきである。

答 きららの湯に関し、令和5年度は指定管理者の更新の時期であり、それまでに検討を進めたい。

▼環境安全課関連

問 ごみ中継施設の開業が遅れると聞いているが、令和5年度の対応はどうなるのか。

答 住民の皆さんはごみステーションにごみを出し、それを回収するというところに大きな変更はない。しかし可燃ごみ処理施設に直接持ち込む場合に御不便をかけるので、若狭広域行政事務組合と対応を考えている。

▼建設課関連

問 除雪のリース車両を協力会社に何台か購入してもらっているが、何台

借りていて、何台処分できたのか。

答 除雪受託者の自社の車として16台。もともと50台をレンタルしていたので、34台がまだレンタルする必要はある。

○農業者労働災害共済事業特別会計補正予算

問 労働災害共済は、県にも掛けているが、その給付額は来年度に入ってくるのか。

答 来年度に入ってくる予定である。

総務産業建設常任委員会

本委員会に審査を付託された案件は議案4件。

委員全員の賛成をもって可決すべきものと決定。

○若狭町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

令和4年10月1日施行の育児休業の取得回数制限の緩和、育児参加のための休暇の対象期間の拡大等に関する措置を講ずるため。

主な質疑事項

問 育児休業中の給料の支払いの割合は何%か。

答 出生後8週間は満額。その後180

日は、共済組合より育児手当が3分の2、残り129日は2分の1が支払われる。

○原子力発電施設等立地地域の指定による町税の特例に関する条例の一部改正について

企業立地促進に係る施策において、固定資産税の課税免除対象を見直すため、条例の一部改正が必要となるもの。

○地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に基づく町税の特例に関する条例の一部改正について

地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の改正に伴うもののほか、企業立地促進に係る施策において、固定資産税の課税免除対象を見直すためのもの。

主な質疑事項

問 条例中の「促進地域」とは、どこが対象となっているのか。

答 若狭町全域である。

問 固定資産税の対象について、今回の条文は、「家屋若しくは構築物」となっているがどちらかの選択になるのか。

答 家屋も構築物も対象と考えている。

一般

いっばんしつもん

質問

(文責：質問者本人)

独り世帯増加への対応策について

問 町内の独り暮らし世帯は何件あるのか。

答 町全体4954世帯のうち、1275世帯が独り暮らし世帯。

問 孤独死防止などのような対策があるのか。

答 地域の繋がりを強化。地域住民や各事業者と連携し、見守り活動推進、地域見守りネットワーク構築が必要と考える。

問 地域見守り活動の現状と問題点、また今後の方策は。

答 町内事業所と協定を締結し協力体制を整えている。高齢者には緊急通報装置

○辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

辺地対策事業債の発行及び措置がなされるためには、当該辺地に係る公共的施設の総合整備計画を策定する必要があるもの。

主な質疑事項

問 1815万円の予算で送水工事を発注する予定であるが、物価、材料費の高騰で足りなくなる心配はないか。

答 予算の中で事業は可能である。辺地債を充てているが、不足する場合は一般財源を充当する。

問 西田公民館の改修計画は、辺地総合整備計画に該当するのか。

答 過疎債の充当を考えている。今回の予算は一般財源で組んでいるが、県の同意が取れ次第、補正予算で財源の振替をしたい。

役場職員の若狭町居住について

への研修は人材育成には効果的であり有効な手段と考えている。

問 町職員への定住策はあるのか。また、災害時に町外在住職員の緊急招集に支障がないのか。

答 助成制度はないが各種支援制度を説明する。災害時については、平常勤務・緊急対応も現状問題なしと考えている。

役場職員の町へ参画について

問 若手職員主導のアイデア創出や地域活動の参加、一般企業等への研修を考えているか。

答 第二次若狭町総合計画策定のなかで若手職員の意見を反映する。職員の集落連絡員体制や地協への積極的参加を支援し地域の活性化に取組む。企業等



元気体操教室(三十三公民館)



議員 議員 議員 議員 議員 議員 議員 議員 議員 議員

DX(デジタルトランスフォーメーション)をどの様に推進するのか

町長 「暮らしのDX」「行政のDX」「社会のDX」の3つの柱で、展開していく

広域可燃ごみ処理について

問 令和5年4月に高浜町に84億1500万円で竣

工予定の広域可燃ごみ処理施設と、若狭町日笠に工事全体4億2000万円で竣工予定の広域可燃ごみ中継施設の建設工事について、今後どのような流れで事業が進められていくのか。



若狭町日笠地係の広域可燃ごみ中継施設について

答 嶺南西部4市町で組織する若狭広域行政事務組合で進めている、可燃ごみ処理施設等の今後のスケジュールは、高浜町に建設中のごみ処理施設については、年内に建屋や場内の工事を終え、火入れ式を行った後に、令和5年4月からの本格稼働の予定。

若狭町日笠地係の広域可燃ごみ中継施設については、敷地の造成工事を終え、建屋の工事に掛かることとしていたが、資材価格等の高騰などの理由による入札の辞退があり、

独り世帯増加への対応策について

町長 地域との繋がりがりや見守り活動を推進しネットワーク構築を目指す必要がある



倉谷明 議員

大規模災害(洪水時)の指定避難所開設の基準、タイミングを伺う

町長 雨雲の予測に基づき、国、県等と情報交換し、危険度・緊急度を判断し、発する

指定避難所の備え

問 受入れ可能人数の算出方法を伺う。

答 コロナ感染症対策の一人当たりのスペースを4平方メートル以上の確保を基本に各地区の小学校や公民館等19カ所で開催する。

問 食糧・水・毛布等の適正備蓄数量の考え方や避難生活長期化時の物資の調達方法を伺う。

答 地震による被害予測最大避難者予測数の1200人1日分を分散備蓄している。防災倉庫にはヒーターや大型扇風機等を整備している。

長期化の場合、県内外の8企業と災害時の物資供給協定や県内市町、姉妹都市の高槻市や友好交流都市の吹田市等と災害時に

おける相互応援協定を県外合計19市町と締結している。

過去から学び、強化された防災対策

問 高齢者や要支援者等への日頃の働きかけや防災教育、個人の備えの啓発活動の状況を伺う。

答 避難行動が困難な方の個別避難計画を各地域づくり協議会、民生児童委員に協力を依頼し、令和6年度中に作成する。

若狭町防災士の会が防災にかかわる研修会を地域づくり協議会へ出向き実施している。

防災訓練の一次避難時には非常用持出袋の中身の確認をお願いする。

早瀬川水系整備計画完成までの備え

問 水月湖からのトンネル放水路完成までにこれまでと同程度、それ以上の水害が発生した場合、自然排水を待つだけか。現時点での備えはあるか。

答 浸水が発生した場合に国土交通省が保有する排水ポンプ車の貸与による緊急排水等の協力体制が構築されている。

治水プロジェクトでは湖岸堤整備に加え、河川浚渫や本支川の流域治水を推進する。

その他の質問事項

- 若狭町職員定数計画
女性管理職登用



いっばんしつもん

質問

(文責：質問者本人)

就学援助、本町は受給のハードルが高い要件を緩和してはどうか

教育委員からも同様の意見を頂いている要件の緩和を検討している



北原武道 議員

問 嶺南6市町の中で本町は就学援助率が低い。本町は受給のハードルが高いからではないか。要件を緩和してはどうか。

答 教育委員からも同様の意見を頂いている。教育委員会で要件の緩和を検討している。

学校給食にオーガニック農産物を

問 若狭町食育地産地消推進計画では、毎月19日を「ふるさと給食」の日としている。その実施例と、その時使った農産物、仕入額を訊ねる。

答 5月19日に、町特産の梅肉を使った「キャベツとキュウリの梅和え」などの献立を実施した。米、梅肉は町産、キャベツ、キュウリ、ジャガイモは町外産で、これらの総仕入額は8万2142円であった。

問 近年、地球環境の悪化が深刻となり、世界が持続可能な発展を志向(SDGs)している中、地場産のオーガニック(有機・減農薬)農産物を学校給食に取り入れる自治体が増えている。先の農産物を、町産オーガニックに置き換えた仮定すると、どうなるか。

答 町内産で有機JAS認定のオーガニックのものは、米、梅しかない。あとは県外産のものを使ったとして、総仕入額は20万円前後になるだろう。



川島富士夫 議員

問 带状疱疹は50歳から発症率が高くなり、80歳まで

带状疱疹ワクチン接種に公費助成を!

問 より検査精度の高い屈折検査機器の一日も早い導入で、幼児の目の異常の早期発見に期待する。

問 3歳児検診では、どのような検査をどのように行っているのか。

答 現在はランドルト環を使用して視力検査を行っているが、今年度途中からは屈折検査機器を導入する予定。

に約3人に1人が発症する。予防には带状疱疹ワクチン接種が有効だが高額である。公費助成ができないか。

答 带状疱疹は激しい痛みを伴う皮膚病で、症状は3〜4週間程度続く。本町では定期接種には公費助成を行っていないが、任意接種には公費助成を行っている。

介護保険サービスの利用者にかかる費用負担を軽減する制度に!

問 介護保険サービスの「福祉介護保険サービス」の早期導入を!

健康医療課長 今年度の途中から3歳児検診に「屈折検査機器」を導入する予定

議会の動き



8月17日 小浜市・若狭町総合振興協議会



8月17日 小浜市・若狭町総合振興協議会 現地視察(熊川宿)



8月19日 町議会議員研修会(リモート)



8月19日 南越前町 災害見舞金の贈呈

議員と語ろう

若狭町女性の会主催

「議員と語る会」に参加

〔開催：8月24日〕



女性の会の参加者から感想をいただきましたので紹介します。

- 1 女性の意見をもっと行政や地域に届けるにはどうするか
- 2 女性の会やその他各種団体との横の連携をもっと深めるにはどうすればよいか

のテーマに絞り意見交換しました。

「女性の会から議員を出す」「集落の役員などに女性が参加する」「とにかく女性は家庭や仕事などで忙しい!!」「男性が家庭での役割をより担うように」「男性の意識改革が必要」などの発言がありました。忙しい女性が気軽に参加、意見発信できるSNSを活用するこで行動

政へ声を届ける目安箱アプリが欲しいといった案も出ました。「女性同士、または集落の人たち、町内の様々な人とつながる場づくり」、「どこでも若い人たちが意見を言えることが大事」など「女性が」というだけでなく、町内の人同士が「つながる」ことが、よりよい町政の実現に結びつくと感じました。

話し合いはさらに、各種団体や集落の運営の仕方にも及びました。若い年代の参加や伝統行事を継承していくためには組織運営も見直し、スリム化により負担軽減するなど変えていくことも横の連携につながるのではないかといった意見も出ました。意見交換の後は各グループのまとめの発表があり、考え方の共有ができました。

日々追われるような毎日ですが、この会に参加してお話する機会の少ない議員の方や町内女性の方々と気軽に話してお話することができ、多くの深いご意見に触れることができ、今まで遠くに感じた町政が、自分にとって少し身近になったことを感じました。ありがとうございます。

今後このような企画を通じて、住民の皆様と意見交換をし、議員活動が活かしていきたく思っています。



令和4年 12月定例会の日程

〔会期：11月29日～12月16日〕

すべて傍聴できます。上程される議案の件数などの関係で予定が変更になる場合があります。

本定例会で扱う請願・陳情の受付は11月16日(水) 15時締め切りです(議会事務局)。

■ 本会議(開会)

11月29日(火) 9時

■ 本会議(一般質問)

12月6日(火)・7日(水)〔予備日〕 9時

■ 本会議(閉会)

12月16日(金) 9時

※詳細日程は、右記のQRコードから御確認ください。
※町ホームページにも掲載しています。



編集後記

県下で1000人を超える感染者が報じられた時には、どこまで増えるのか心配しましたが、ようやく200人台にまで落ち着いてきました。

先日、広報研修会に参加し、先進地の素晴らしい議会だよりを見せていただきました。町民の皆様に見て、読んでいただけるものに少しずつでも変えていきたいと思います。

(西村 毅)

